

# 令和2年9月議会 宇都宮市議会定例会報告

一般質問  
一問一答方式

## 中塚英範

### 質問項目

#### 1 市長の政治姿勢について

- 1) といず事件への対応について
- 2) 新型コロナウイルス感染症による諸問題への対策について
- 3) 8050一括対応窓口の整備について



中塚英範市議  
録画配信HPのQRコード

#### 2 ヘイトスピーチ解消法の具現化に向けた取り組みについて

- 1) 憎しみをおおる差別的な表現を解消するための周知啓発について
- 2) ヘイトスピーチ禁止条例の制定について

#### 3 ヤングケアラーの周知・啓発と支援について

#### 4 子どもの視点に基づく教育行政について

- 1) コロナ禍による児童・生徒の心のケアと思いづくりについて
- 2) 不登校に対する考えと当事者目線に立った取り組みについて

### 質問及び答弁（抜粋）

#### 3 ヤングケアラーの周知・啓発と支援について

**Q** ヤングケアラーとは、慢性的な病気や障がい、精神的な問題などがある祖父母、両親、きょうだいなど、身近な家族の介護や世話をしている18歳未満の子どもを指し、全国の15歳～19歳では37,100人に上ると言われている。15歳未満やヤングケアラーの認知がまだまだ進んでいない事を考慮すると、その数はさらに多くなり、小学生が介護を担っているケースも報告されている。ヤングケアラーは、家での介護が重くのしかかり、心身に不調をきたすことや、「宿題ができない」、「遅刻してしまう」、「勉強についていけない」、「不登校」等の状況になる事も多く、また、認知が進んでいないため、学校の先生からも理

解されず自己肯定感が低下する傾向にある。さらに、介護のために部活動等の体験の機会が奪われたり、進学や就職を諦める傾向もあることから、「子どもの教育を受ける権利」や「子どもの人権」という観点からも是正する必要がある。この様なことから、子ども達が適切に教育や体験を享受するためには、子ども達にとって最も身近で、とすれば唯一相談できる場所が学校であり、先生であることから、学校が相談・支援の入り口になる事が重要と考えるが見解を伺う。

**A** 現在、児童生徒指導強化連絡会等にスクールソーシャルワーカーが参加し、様々な家庭の問題から支援が必要となる児童生徒への対応について検討しており、今後は学校におけるヤングケアラーについての理解を促進し支援が必要な児童生徒の早期発見・早期対応に努めて行く。

### 障がいを抱える家族のためのオンライン会議のご案内

国は教育現場を対象にヤングケアラー実態調査を始める方針を決定した。ヤングケアラー理解促進のため「障がいを抱える家族のためのオンライン会議」のご案内。研究者や家族によるシンポジウムが期日限定(R2/12/30～R3/1/31) 無料公開。



一般質問  
一問一答方式

## 宇梶 哲

### 質問項目

#### 1 災害における包摂的な支援の在り方について

#### 2 コロナ禍における人権問題とハラスメントについて

- 1) 感染症患者・家族に対する誹謗中傷、人権侵害について
- 2) ハラスメントについて
- 3) コロナ感染者への人権侵害禁止条例制定について



宇梶哲市議  
録画配信HPのQRコード

#### 3 SDGs未来都市としての二酸化炭素排出ゼロに向けたプロセスについて

#### 4 スマートシティの実現に向けた5Gについて

- 1) 市有地への5G基地局の現状について

- 2) 5G普及へのサポート並びに5Gを活用した市民サービスの向上について

#### 5 マイナンバー制度について

#### 6 投票率の向上に向けて

- 1) コロナ禍での投票所の対策について
- 2) 商業施設、コンベンション施設等への期日前投票所の設置について

### 質問及び答弁（抜粋）

#### 6 投票率の向上に向けて

- 1) コロナ禍での投票所の対策について

**Q** 3月に総務省より、選挙における新型コロナウイルス感染症対策における技術的助言として通知が出されていると思うが、11月に控える選挙において、新型コロナウイルス感染症防止対策にどのように取り組み、どのように周知を進めるのか、見解を伺う。

**A** 選挙人の分散を図るため、期日前投票所の利用を働きかけるとともに、市ホームページに投票所や期日前投票所の混雑状況の情報提供を行うほか、消毒液の設置や換気などソーシャルディスタンスの確保、飛沫感染防止の対策を実施し、選挙における安全安心の確保に取り組むとともに、市ホームページや広報誌、自治会回覧、投票所入場券、選挙公報など媒体を活用して、有権者への情報の提供ができるよう

に、周知に努める。

#### 2) 商業施設、コンベンション施設等への期日前投票所の設置について

**Q** 大型ショッピングセンターの改装に伴う、期日前投票所の継続開設の状況について、伺う。

また、今後、選挙人の利便性を考えた、頻繁に人の往来がある利便性の高い大型商業施設などの場所への期日前投票所の効果的な増設と、期日前投票所の開設期間と時間の弾力化、共通投票所の設置が、選挙人の利便性を高め、投票率向上につながる運営に取り組むことが重要と考えるが、今後、投票しやすい環境づくりに向けた取り組みを、どのように進めていくのか、見解を伺う。

**A** 大型ショッピングセンターの継続開設については、事業者と協議・調整した結果、これまで通り開設できることとなり、本年11月実施予定の選挙から期日前投票所の開始時間をこれまでの午前10時から午前9時に変更し、投票時間を1時間延長することで投票機会の拡大に努める。

また、期日前投票所の新たな設置には、財源や安定的な投票スペースの確保、二重投票防止のためのネットワークシステムの構築などの課題があるが、期日前投票所は、有権者が投票しやすい環境づくりに有効な手段であることから、引き続き増設の可能性について、調査研究を続けて行く。

一般質問  
一問一答方式

## 郷間康久

### 質問項目

#### 1 市長の政治姿勢に関すること

#### 1) 申請書や届出等への押印と署名について

#### 2) 職員の業務負担軽減策について

#### 2 平出町トランジットセンターゾーンについて

- 1) Park-PFIの手法について
- 2) 農産物直売所とスポーツ施設について

#### 3 都市ブランド戦略について

#### 4 テレワーク都市の実現について

#### 5 河川敷グラウンドの課題に関すること

- 1) 新たな総合運動公園の設置について

#### 6 農業王国の現状と未来について



郷間康久市議  
録画配信HPのQRコード

#### 7 発熱外来患者のPCR検査について

#### 8 特殊な町名について

### 質問及び答弁（抜粋）

#### 1 申請書や届出等への押印と署名について

**Q** 行政手続きにおける「脱ハンコ」を推進し、行政のデジタル化やスマート化をめざしてはどうか。本年7月から国において行政手続きのデジタル化に向けた押印制度の見直し等が検討されており、今後はガイドライン等が示される予定なので、それらを踏まえながら（「脱ハンコ」について）対応していきたい。

#### 2 平出町トランジットセンターゾーンについて

**Q** 平石地区のLRT沿線にPark-PFIという手法を用いて都市公園を整備し、農産物直売所やスポーツ施設などを設置されることが決定したが、これらの計画に地元の要望をいかにして反映させるのか、また、JAうつのみやや平石農産物直売所との調整をどのように図っていくのか見解を伺う。

**A** 地元説明会で出された意見や、自治会、まちづくり組織等を通じて寄せられた提案等に耳を傾け、地域住民の皆さまと十分に意見交換を重ねながら、（農業団体等の）関係機関とも適宜ヒアリングを実施し、その結果を事業者の公募等に反映させていきたい。

#### 6 農業王国の現状と未来について

**Q** 本市の農業は高齢化や担い手不足などが深刻化し「王国」には程遠い現状にある。これらを踏まえ、うつのみや農業の未来について5期目をめざす佐藤市長の抱負を聞かせていただきたい。

**A** 農業王国は目標としてとらえている。達成にあたっては、まだまだ厳しい現状にあるが、食糧自給率の乏しい我が国だからこそ、何があっても宇都宮市民には安全で安心して新鮮な農産物を安定して提供できるようにしたい。そのためには今後とも農家に寄り添い、関係団体とも連携を図りながら、行政一丸となって魅力と夢のある農業王国をめざし、稼げる農業の実現に向けて努力をしていきたい。

#### 8 特殊な町名について

**Q** 本市には下反町のように町が2つ並ぶ町名や御幸ヶ原町のように町内の小学校名と表記が（「ヶ」と「が」で）異なる町名が存在する。新時代を迎えた今、地域の皆さんに現状のままで良いか意見を求めているかどうか。

**A** 既存町名の変更については、地域の皆さまからの発意や合意が重要であると認識しているので、関係する方々の総意に基づく要望や相談があった場合は、必要な手続き等について説明を行うなど丁寧に対応していく。

# 私たちは皆様の声を市政に活かします!!

次回 令和2年12月議会質問予定者  
今井恭男・小平美智雄・高橋英樹